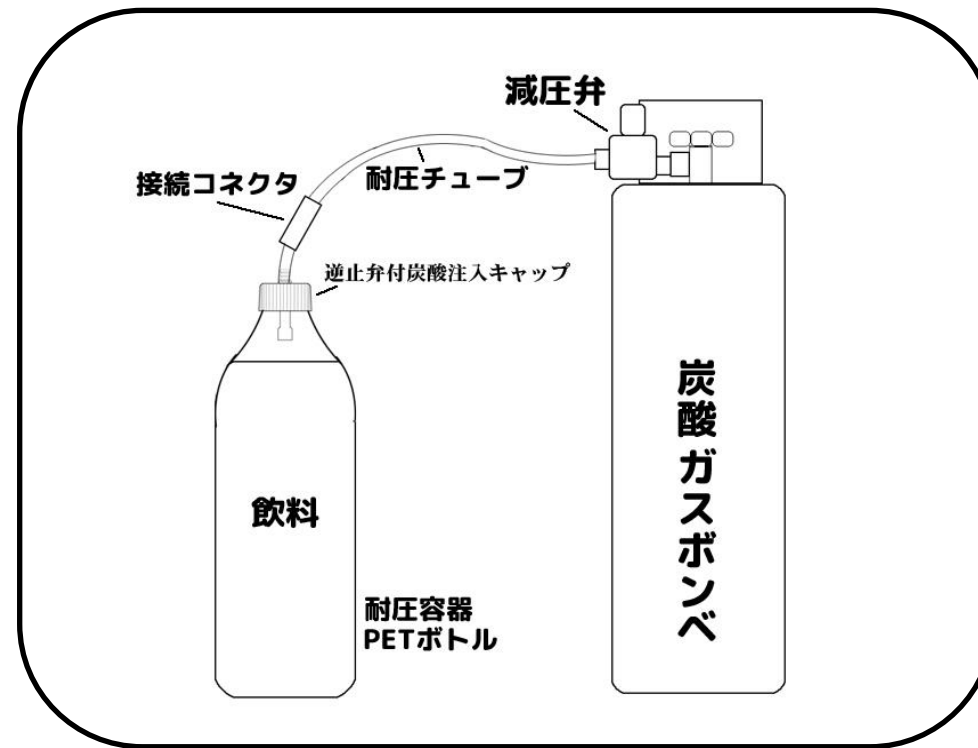


誰でも炭酸水Beeタン

取り扱い説明書



各部の名称	・・・P 2
ご使用上の注意	・・・P 3～P 4
強炭酸水の作り方	・・・P 5～P 7

各部の名称



※一度閉めると開ける時にスクリュー部分が切り離されます。

※容器に残ったスクリュー部分はニッパやハサミ等で切り取って除去してください。

※検品のためスクリュー部分が切り取られた状態で発送する場合があります。予めご了承ください。

逆止弁付炭酸注入キャップ



(減圧弁セットに同梱されます)

炭酸ガスボンベの圧力を調整するために使用します。炭酸水製造やビールサーバー等に使用することができます。

残量表示機能がついているので便利です。

※メーカー取扱説明書を参照ください。

減圧弁(レギュレーター)



逆止弁付炭酸注入キャップに接続するためのコネクタです。

一度差し込むと水もガスも逃さない設計になっています。

取り外す時はもう一度深く差し込んで接続口にある開放リングを引き上げながらコネクタを引張ると抜く事が出来ます。

接続コネクタ 8mm-6mm



業務用のガスボンベに十分耐えうるチューブを使用しています。炭酸サーバーやビールサーバーなどに適しています。

上質なチューブを使用していますので内部は無臭で炭酸水に影響を与えません

耐圧チューブ 8mm外径



炭酸注入の時に容器を入れて安全性を高めます
エアークッション

接続の仕方と使用上の注意

接続に不慣れな場合①～③を数度行って、コツをつかんでください。

外す時はこのリングを引き上げて



接続①フタを外す

キャップ上部に付いているフタを外します。フタのフチにあるリングを引き上げた状態でキャップ側へ少し押し込んでから引き抜きます。

フタの役割

ガス注入時にはガスや液体は逆流することはありません。しかし強炭酸をつくる場合やアルコール類に注入する際は圧力が強くなり取り外し後に微量の吹き出しがあります。**異常ではありません。**これを防ぐために素早くフタをします。

ぐっと深く差し込んでください。

注入後は素早くフタをする

このチューブは外さない



接続②コネクタと接続

注入キャップ先端にはチューブがついていますので、ここに接続コネクタをぐっと差し込んで下さい。(左写真)

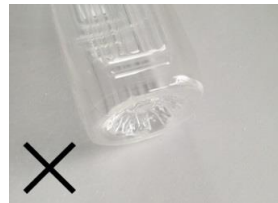
このあと、ペットボトルに取り付け炭酸ガス注入します。5P～強炭酸水の作り方を参照してください。

接続③注入後はコネクタを外しフタを閉める

耐圧容器以外の容器やガラス瓶には絶対に使用しないでください。爆破や破裂の恐れがあります。



耐圧容器だけを使用する



← 耐圧容器は主に炭酸飲料に使用されるもので、底部に5箇所の凸部のあるものを使用します。**痛みが激しい容器は注入時に破裂事故を招く危険があります。**ホームセンター等で新品の耐圧容器をご購入ください。(免責)容器の破裂による事故等、当社は責任を負いません。

容器の口にご注意ください。



新品以外の容器を使用する場合は他のキャップのスクリュー部分が残っていないか確認してください。写真は他のキャップのスクリュー部分が残っている状態です。この状態でキャップをするとガスや液漏れを起こします。必ずハサミやニッパなどで切り取ってご使用ください。

開封時の持ち手の向きにご注意ください。

キャップ部分が自分の顔に向かないようにして開けてください。



○



×

定期的な洗浄を行ってください。



本製品に使用されている部品はステンレス及び真鍮・樹脂等を使用しております。どちらも耐久性は優れますが、長期間使用しますとサビやカビが出る場合があります。

逆止弁接続部分は水道管のバルブにも使われている真鍮を使っていますので、独特の風合いにより**自然に黄土色に変化する**のが特徴です。サビではございませんが、気になる方は定期的に食器用洗剤につけ置きして水洗いしてください。

減圧弁継手の接続について

継手は接続に応じた力(トルク)でねじ込みを行ってください。漏れ防止のため漏れ防止対策は必ず行ってください。また接続後は石鹼水等で漏れの確認を行ってください。密室でボンベ内のガスを放出するとガス中毒や窒息する場合があります。人間には問題なくても小動物などが死ぬおそれがありますので十分注意してください。

※減圧弁のネジのサイズは30mm。
取り付けにはモンキーレンチやスパナが必要です。



- 取り扱い説明書にある規定圧力を遵守してご使用ください。(圧力を上げすぎると破裂して怪我をする恐れがあります。)
- 使用時はゴーグルを着用し注入キャップを絶対に顔に向けないでください。厚手の手袋をして破裂による怪我を防いでください。
- 冷蔵庫で保管される場合はキャップ部分が顔に向かないように、立てた状態で保管してください。
- 小さなお子様の手の届くところに置かないようご注意ください。
- 免責事項: 本製品の使用によるいかなる傷害や損害賠償等が発生しても一切の責任は負いません。全て個人の責任において作業してください。
※耐圧容器以外や古い容器は使用しないでください。また、容器破裂による事故等も責任を負いません。必ず新しいものをご使用ください。

強炭酸水の作り方(通常は④⑤は省いてください)

準備 炭酸水用のペットボトルに水を7割程度入れて冷蔵庫でよく冷やしておきます。シェイクしますので満水にはしません。

必ず炭酸水用の容器を使用すること。
お茶やガラス瓶などの容器は破裂する可能性があるので使用禁止！

※写真は説明のため素手で使用しています。
ご利用の際は必ず厚手の手袋を着用してください。



① エアークッション取付

エアークッションの中へ容器をセットします。

1.5Lのペットボトルが丁度入る大きさです。

注入時には必ずエアークッションを使用し、さらに厚手のグローブを着用するよう心がけてください。



② ペットボトルへ取付

Beeタンを良く冷えたペットボトルに取り付けます。しっかりとキャップを閉めて下さい。

強炭酸の作り方ポイント

この時に容器を凹ませて中の空気を完全に出しておくとともに強炭酸になります。



※凹ませて空気を出す時にキャップ上部から空気が入り込みますが異常ではありません。
※接続コネクタをキャップに取り付けた状態でキャップを少し緩めて中の空気を出します。

③ ガスの元栓を開ける



炭酸ガスの元栓を全開する。
反時計回りに回す。

④ 減圧弁メモリを1.5にする

※表示が0.15のものもあります



メモリを1.5に合わせます。ペットボトルに炭酸ガスが注入されていきます。

⑤ 炭酸注入 1回目



炭酸ガスを注入しながら容器を真横にし50回～60回シェイクして溶け込ませます。
※キャップが顔に向かないように注意してください。

⑥ 減圧弁メモリを3.0にする

※表示が0.3のものもあります



メモリを3.0に合わせます。ペットボトルに炭酸ガスが注入されていきます。

⑦ 炭酸注入 2回目



炭酸ガスを注入しながら容器を真横にし50回～60回シェイクして溶け込ませます。ガスが入らなくなったら終了です。

⑧ レギュレーターを閉める



メモリを0に戻して閉めます。
機種により回す方向に注意します。

⑨ ガスの元栓を閉める



炭酸ガスの元栓を閉める。
時計回りに回す。

⑩ 接続コネクタの取り外し



接続コネクタを取り外します。
一度押し下げて継手部分を
持ち上げるようにすると
簡単に外せます。

**炭酸ガスが入りすぎると
微量に漏れる場合があります
が異常ではありません。
専用のフタをすばやくはめて
対応してください。**

⑪ 専用フタをする



長時間保存用の専用フタをします。
深く差し込んで完全に密封します。
引っ張っても抜けにくい
ぐっと差し込んでください。

その後冷蔵庫で半日ほど寝かせ
ます。そのままでも炭酸水として
飲めますが冷蔵庫の中で寝かせ
ることで炭酸水が溶け込んで
安定しておいしくなります。

思うように炭酸が入らない場合は？

環境や手順、減圧弁、逆止弁、炭酸ガスボンベ残量、浄水の温度など様々な要因で炭酸ガスが思うように注入できない場合があります。その場合は以下の手順で対処してください。

- 1, 炭酸容器に**5～6分目**くらい目安に浄水をいれ良く冷やしておく。(2°C～3°C)
- 2, 炭酸ガス注入前に**中の空気を完全に**出しておく。ガスの**入る分量がそれだけ多くなります。**

※しっかりシェイクして注入します。注入後は冷蔵庫の中で**1日**程寝かせます。冷やすことで炭酸ガスが**溶け込みやす**くなります。

- 3, それ以上のガス圧を求める場合はガス圧を**3気圧以上**に上げます。

※様々な要因で実際にはメモリ設定のガス圧が入っていない場合があります。

※付属のエアークッションに入れて安全確認の上で行ってください。

※当社実験結果より6.0気圧でも破裂することはありませんが、あくまでも自己責任で行ってください。

サービス・メンテナンス

商品には万全を期しておりますが、万一不具合等ございましたら無料でお取り替えいたします。
商品到着後14日以内に下記までご連絡ください。

beetan@tatsu-web.com

※期限を過ぎますと有料となります。予めご了承ください。